

# 令和2年（2020年）7月豪雨 （第2回）非常災害対策本部会議

## 議 事 次 第

日時：令和2年7月6日（月）17:00～

場所：官邸4階大会議室

1. 開会 【内閣官房長官】
2. 気象の概要 【気象庁長官】
3. 被害状況等報告 【内閣危機管理監】
4. 各省庁の対応状況 【各省大臣等】
5. 内閣総理大臣発言 【内閣総理大臣】
6. 閉会 【内閣官房長官】

(土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒)

## 本日(6日)16時30分、福岡県、佐賀県、長崎県に大雨特別警報を発表しました。

<見通しの変化> 福岡県、長崎県、佐賀県において、16時30分に特別警報を発表した。被災地(熊本県)における雨の強い時間帯が長引く予想となった。また、前線がより北上する予想に変わり、東北地方でも大雨となるおそれがある。8日以降の前線の動向についても留意。

<概況> 梅雨前線が西日本から東日本に停滞しており、福岡県、佐賀県、長崎県では雷を伴った猛烈な雨が降っている所があり、16時30分に大雨特別警報を発表した。九州地方では、土砂災害の危険度の極めて高くなっている所があり、重大な災害が発生するおそれがある。

<気象の見通し> 梅雨前線は太平洋高気圧が強まるため、6日夜から7日夜にかけて対馬海峡から東北地方に停滞するため、西日本から東北地方にかけての広い範囲で7日にかけて局地的に雷を伴った猛烈な雨や非常に激しい雨が降り、大雨となるおそれ。土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。7日12時までの24時間雨量(多い所)は熊本県を含む九州北部地方、東海地方で250ミリ、近畿地方、関東甲信地方で200ミリ、中国地方、北陸地方で180ミリ、九州南部、四国地方で150ミリの見込み。さらに8日12時までの48時間の雨量(多い所)は東海地方で350から450ミリ、九州北部地方、関東甲信地方で250から350ミリ、九州南部、四国地方、近畿地方、北陸地方で200から300ミリ、中国地方で180から250ミリの見込み。8日は前線は南下するものの、8日以降も前線が本州付近に停滞するため、西日本、東日本では大雨の続くおそれがある。

<警戒事項> 土砂災害や低い土地の浸水、河川の増水や氾濫に厳重に警戒。竜巻などの激しい突風や落雷に注意。各地の気象台が発表する警報等の気象情報や気象庁ホームページの危険度分布に留意。

<九州(被災地)の見通し> 熊本県(天草・芦北地方、球磨地方)では、梅雨前線の影響で雨が降っており、これから明日にかけて雷を伴い非常に激しく降る所があり、再び7日も大雨となるおそれがある。8日12時までに予想される48時間雨量は熊本県の多い所では、250から350ミリの見込み。

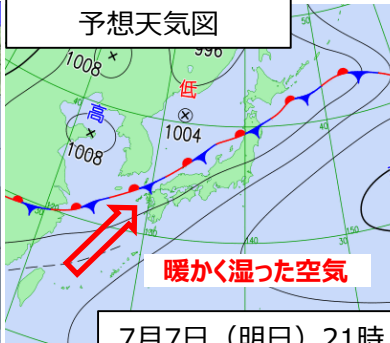
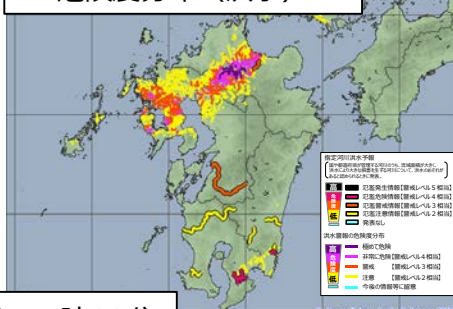
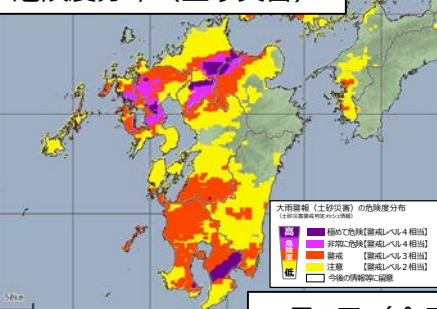
### ■ 予想される雨量(多い所) 単位:ミリ

	7日12時までの 24時間雨量	8日12時までの 24時間雨量	8日12時までの 48時間雨量
東北地方	100ミリ	50~100ミリ	100~200ミリ
関東甲信地方	200ミリ	100~200ミリ	250~350ミリ
北陸地方	180ミリ	100~150ミリ	200~300ミリ
東海地方	250ミリ	100~200ミリ	350~450ミリ
近畿地方	200ミリ	100~150ミリ	200~300ミリ
中国地方	180ミリ	50~100ミリ	180~250ミリ
四国地方	150ミリ	100~200ミリ	200~300ミリ
九州北部地方 (豪雨被災地)	250ミリ	100~150ミリ	250~350ミリ
九州南部	150ミリ	100~150ミリ	200~300ミリ

### 危険度分布(土砂災害)

### 危険度分布(洪水)

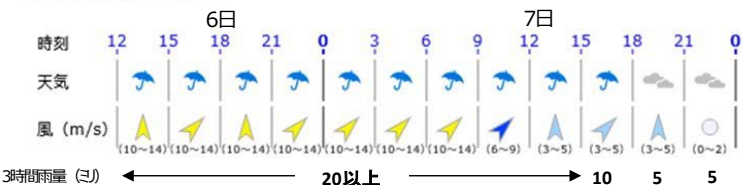
### 予想天気図



7月6日(今日) 14時00分

7月7日(明日) 21時

熊本県/天草・芦北地方



日 時		6日		7日	8日
		12~18	18~6	6~24	
東北地方	大雨				
関東甲信地方	大雨				
北陸地方	大雨				
東海地方	大雨				
近畿地方	大雨				
中国地方	大雨				
四国地方	大雨				
九州北部地方	大雨				
(熊本県)	大雨				
九州南部	大雨				

■ 大雨の警報級となる可能性のある期間

■ 可能性がある ■ 可能性が高い